

てがたんレポート Vol. 2 No. 3 (2005年3月：通巻12号)

- ★観察コース：博物館玄関前スタート→鳥博前田んぼ→水の館前田んぼ→
ミ二手賀沼→手賀大橋下→噴水前広場（解散）（3グループの分かれて観察）
★観察日時／天気：2005年3月12日（土）10:00～12:00／晴れ
★参加人数：46人
★観察案内と記録：
・友の会観察ボランティア：小泉さん、染谷さん、中野さん
・鳥博：時田、斉藤

今回のテーマ
・冬鳥
・春のぎざし

観察記録ーみんなで観察した生き物リストー

【観察した鳥】

カイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、オナガガモ、ミコアイサ、ミサゴ、トビ、キジ、バン、オオバン、タシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、ウグイス、メジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

（帰化鳥や家禽）コブハクチョウ、カナダガン、バリケン、シナガチョウ、アヒル、シャモ

【その他の動物】

（昆虫）タンポコオロギ幼虫（幼虫越冬）

【観察した植物】

（花）オオイヌノフグリ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、タネツケバナ、タガラシ、ノボロギク、セイヨウタンポポ、コハコベ、ナズナ

（赤い実）アオキ

* リストの生き物の名前は順不同です

3月の観察アルバム

タネツケバナ



ホトケノザ



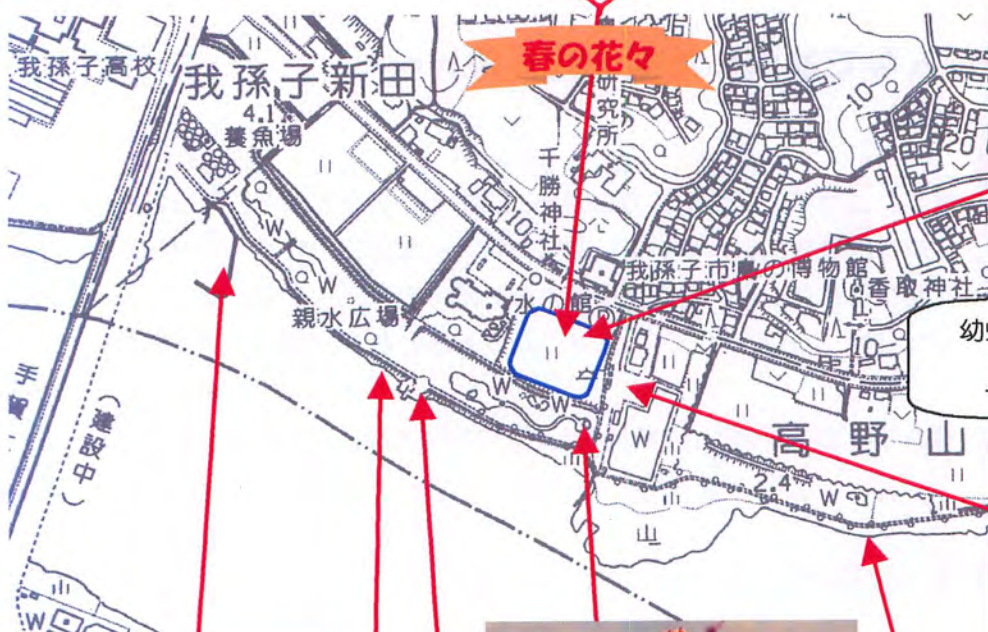
オオイヌノフグリ



タガラシ



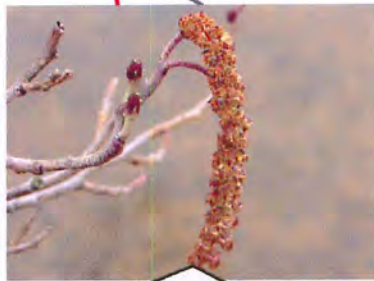
オランダミミナグサ



幼虫で冬を越すタンボコオロギ
*額の一字が特徴
→別名イチモンジコオロギ



北帰行が始まったオナガガモ、
数が先月の半分に減少



すっかり花粉を飛ばし終えた
ハンノキの雄花



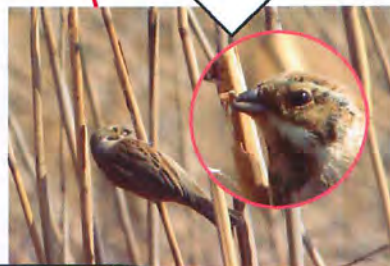
そろそろほころびはじめた
サクラの花芽



アシナガバチの仲間の
昨年の巣



すっかり噴水広場に
定着したバリケン



目の前のヨシ原で大胆に
カイガラムシをついばむ
オオジュリン